

# WEL・NET

## 通信

- 特集 1 Welnet Rehab Garden 1 周年！
- 特集 2 退院後の生活に向けた支援
- 新任医師のご紹介・チーム紹介：広報担当 など

2021.5

発行日 令和 3年 5月 10日  
発行 西広島リハビリテーション病院  
事業局  
☎ 082-921-3230 (代表)  
URL <http://www.welnet.jp>  
E-mail [wel@welnet.jp](mailto:wel@welnet.jp)

WELNET 通信は、西広島リハビリテーション病院の地域リハビリ・地域連携に関わる活動をご紹介します広報誌です



医療法人社団朋和会

西広島リハビリテーション病院







# 退院後の生活に向けた支援

～回復期リハビリテーション病棟の多職種によるアドバイス～

回復期リハビリテーション病棟は、患者さん・ご家族が今後の生活をできるだけスムーズに過ごすことができるよう、さまざまな準備を行うところです。リハビリ訓練を提供する療法士の他にもたくさんの専門職が配置され、患者さん・ご家族の退院後の生活に向けて、アドバイスをを行っています。



## 薬

薬剤師（副主任）  
かわなみ ひろみ  
川浪 浩美

### Q- どんな支援を行っていますか？

退院後に服薬されるお薬の内容や服薬方法を、ご本人やご家族に説明します。

### Q- 飲み忘れを防ぐための工夫は？

朝食を抜く習慣がある方は朝食後の薬を飲み忘れたり、お仕事に出られる方は薬を持って出るのが忘れたり、といったことが起こりがちです。その方の生活スタイルに合わせたアドバイスをするために、ご本人からよくお話を伺います。どうしても飲むのが難しい場合は、先生に相談して、お薬の時間を変えてもらうことも考えます。私達は患者さんに接する機会が少ないので、患者さんのことをよく知るためにチームの他のメンバーに話を聞いたり、記録を確認したりして、常に情報収集を行っています。

市販の投薬カレンダー ▶  
利用することもあります。  
飲んだか飲んでいないかが目に見えて分かりやすく、飲み忘れ防止に役立ちます。



### Q- 心がけていることは？

患者さんに、自分のことなんだという意識を持っていただくことが大切です。そのためにも、お薬の内容をしっかりと把握でき、これを飲んで良くなるよ！と思ってもらえるような説明をするのが、私の仕事だと考えています。



## 食事

管理栄養士  
なかにし あやか  
中西 彩佳

### Q- どんな支援を行っていますか？

必要な方に対して、塩分やカロリーの制限などの食事療法や、嚥下食など特殊な食形態の作り方の説明を行います。

### Q- 分かりやすく伝える工夫は？

お食事にとろみをつける方法を説明するとき、実際に料理を何品か持って行って、とろみをつけるのを体験してもらっています。お料理は種類によって水分量が全く違い、この量に対してとろみ剤を何杯、とは言えないところがあるので、実際にとろみをつけてみて、「このぐらいですよ」という感覚を掴んでもらうようにしています。

食事療法や食形態の説明を書いた当院作成のリーフレット。

市販のパフレットを使って市販品の紹介をすることもできます。



### Q- 心がけていることは？

やはり食事は生活の楽しみですから、作る方も食べる方もストレスにならないよう、無理なく継続できる方法を一緒に見つけられたらと思っています。これを食べたらダメ、ではなく、食べるならこういう風に気を付けて、という言い方にしたり。例えば、ラーメンのスープは半分くらい残すようにしてみましょとか、「それならできるかな」という方もいらっしゃいますよ。



## 医療管理

看護師（師長）  
ながみ あかね  
永見 茜

### Q- どんな支援を行っていますか？

ご自宅で胃瘻や導尿、吸引、インシュリン注射などの医療管理が必要な方に対して、その方法や注意点を説明します。

### Q- 分かりやすく伝える工夫は？

ご本人の状態・介護度・サービスをどのくらい利用できるか・ご家族のライフスタイルなどから、その方にはどのような方法が適切なのか、まずチームでしっかりと検討します。初めてで難しいと思われるものは、病院のシミュレータを使って練習してもらうこともあります。また、最近、新しく介助指導のパフレットを作成しています。手技面で統一した説明ができますし、ご家族にとっても後で振り返って読むことができ良いのではないかと思います。



▲ 当院作成のパフレット

患者さんのおなかにあててインシュリン注射の練習ができるシミュレータ。



### Q- こんなアドバイスもしています！

脳卒中の再発予防や基礎疾患の管理のために、かかりつけ医を決めることをお勧めしています。普段の生活で具合が悪くなったり相談したいという時のために、近所で身近なお医者さんを選んでいただくのが良いですね。



## 環境調整

医療相談員  
すぎたに さやか  
杉谷 沙耶香

### Q- どんな支援を行っていますか？

ご自宅で生活動作がスムーズにできるよう、住宅改修や福祉用具を利用した環境調整のご提案をします。

### Q- 心がけていることは？

よりご本人やご家族がご自宅で動作を快適にできる方法をご提案したいと思っています。ご自宅への外出訓練の時に同行させていただいて、実際の場面で動作確認をしながら、こういうものがあるといいと思いますよなど、提案させていただきます。

当院の手すりや福祉用具のサンプルを持って行って動作確認してもらうこともあります。これは角につけるタイプの手すりです。



### Q- こんなアドバイスもしています！

環境調整は必要かどうか、工事するのか福祉用具で対応するのかなど、なかなか決められないという方も多いです。そんな時は、可能な限り最初はしっかり環境調整をしましょうとアドバイスをします。いざ困ったという時にすぐに対応できないよりも、まずは福祉用具などをしっかり使って生活してみて、不要であれば返せばいいですからねと。手すりなどは、とりあえずレンタルの福祉用具を置いてみて、続けて使うかどうか、もしくは工事をして取り付けってもらうかなど、後で決めてもらってもいいと思います。

# 新任医師のご紹介

2021年4月1日より、新たに3名の医師が赴任致しました。

出身地 広島県

趣味 ウォーキング

整形外科、特に脊椎脊髄が専門です。骨粗鬆症による椎体骨折が増加しているようです。骨癒合が長びくとADLが低下しますので、痛みのない生活を送っていただければと考えてます。

本館1階・2階病棟

リハ科・整形外科

ささき まさのぶ  
医師 佐々木 正修



西館2階病棟

リハ科・脳神経外科

まつもと あつひと  
医師 松本 敦仁

出身地 広島市、京都市

趣味

サイクル(自分で自転車を組み上げて走るのを楽しんでおります)、サッカー、野営、旅行

今春より勤めさせていただいております松本と申します。

今までは脳神経外科医として、京大、北野、姫路医療センター、天理よろづ相談所病院などで研鑽を踏み、その後地元に戻り広大に属して大学、日赤、マツダ病院に勤務させていただいておりました。故郷は能美島で、海に囲まれて育ちました。脳神経外科医としての経験を生かし、回復期リハビリテーション治療と一緒に育んでいけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

初めまして。東京慈恵会医科大学リハビリ科に所属しており、4月から西広島リハ病院に赴任しています。まだ拙い面も多いですが、患者さんに寄り添い、コミュニケーションをしっかりとって、患者さんそれぞれに合ったリハビリができるように、優秀なリハスタッフと共に一生懸命取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

本館2階・西館2階病棟

リハ科

えざき しょうた  
医師 江崎 祥太

出身地 岐阜県岐阜市

趣味

旅行・映画鑑賞・料理・インテリア・ゲーム・水泳





※  オンライン・オンデマンド・Web 研修など ※ 医師やスタッフの肩書き／氏名は掲載時点のものであり、現在は変更している可能性があります。




※ DR:医師 PT:理学療法士 OT:作業療法士 ST:言語聴覚士 RM:リハビリマネージャー NS:看護師 CW:介護福祉士 CP:公認心理師 RD:管理栄養士




## 外部講演

- 2020.10.14  帝人ファーマ Web 社内研修会  
リハビリテーションにおける痙縮治療について  
岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2020.11.4～  岩国 YMCA 国際医療福祉専門学校 保健看護学科 1 年生  
リハビリテーション学  
(2020.11.4 / 11.18 / 12.2 / 12.9 / 12.16)  
(2021.1.6 / 1.13 / 1.20 / 1.27 / 2.3 / 2.10)  
西原 鮎子 (NS・主任) / 渡邊 賢一 (NS) / 大原 滉平 (NS)
- 2020.11.18  痙縮治療実践 Web 講演会  
ボツリヌス治療の効果最大化を目指して  
～リハビリテーションから考える 400 単位施注の意義～  
岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2020.11.28  第 18 回日本神経理学療法学会学術大会  
講演 1 「リハビリテーション専門医からみた理学療法士に期待すること」  
岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
シンポジウム 5: 未来の理学療法士へのコミットメント 10 年後にはここを変える 「リハビリテーションロボットと理学療法士の未来を変える意思決定」  
松下 信郎 (PT・主任)
- 2021.3.12  広島痙縮治療 small meeting セオマイン®Web 講習会  
特別講演 「痙縮治療とリハビリテーションのチーム医療」  
岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.3.24  千葉県回復期リハビリテーション連携の会 医師部会 勉強会  
回復期リハビリテーション病棟におけるチーム医療  
～組織的にプロセスをどう高めるか～ 岡本 隆嗣 (DR・病院長)

## 学会発表

- 2020.11.20  第 4 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会  
-22  
密着型歩行補助装置 RE-Gait® が失調歩行に対する運動学・運動力学要素に与える影響  
中臺 久恵 (PT・副主任) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 松下 信郎 (PT・主任) / 林 壮一郎 (PT) / 藤高 祐太 (PT・副主任) / 安東 誠一 (DR・副院長) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2020.11.20  第 44 回日本高次脳機能障害学会学術総会  
-12.7  
発語失行を呈した運動性失語患者に対するモーラ指折り法と口形模倣の訓練効果  
三橋 優香 (ST) / 沖田 啓子 (ST・リハビリ部顧問・広島国際大学総合リハビリテーション学部  
リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻 教授) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
日本語の動詞活用に関する基礎的研究  
渡辺 真澄 (東立広島大学) / 西河 杏莉 (職生会脳神経外科病院) / 仁井山 志穂 (西広島リハビリテーション病院・ST) / 辰巳 格 (LD,Dyslexia センター)
- 2020.11.28  第 18 回日本神経理学療法学会学術大会  
-29  
回復期脳卒中後片麻痺患者の歩行不安感に対して Honda 歩行アシストを用いた評価・介入が有効であった症例  
大野 由佳 (PT) / 藤井 琢磨 (PT・副主任) / 松下 信郎 (PT・主任) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 園田 泰 (PT) / 原田 啓司 (PT) / 鶴田 晃啓 (PT) / 中臺 久恵 (PT・副主任) / 渡邊 匠 (PT・副主任) / 山岡 まこと (PT・副主任) / 藤高 祐太 (PT・副主任) / 松四 健太 (PT・副主任) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
密着型歩行補助装置 RE-Gait® が回復期脳卒中後片麻痺患者の歩行能力に与える影響  
林 壮一郎 (PT) / 松下 信郎 (PT・主任) / 中臺 久恵 (PT・副主任) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 福原 ゆい (PT) / 藤高 祐太 (PT・副主任) / 宇都宮 真生 (PT) / 東 佳奈子 (PT) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
トレッドミルの駆動方式が歩行運動の筋シナジーに与える影響についての検討  
増山 貴之 (千里リハビリテーション病院) / 大畑 光司・川崎 詩歩未・鈴木 翔太・Jeffrey Tzu-chieh Lu・神尾 大成 (京都大学大学院医学研究科) / 鶴田 晃啓 (西広島リハビリテーション病院・PT) / 石川 真帆 (藤田医科大学病院) / 野木 しおり (OG 技研株式会社)

- 2021.3.1  一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会  
-2  
2020 年度研究発表会 (WEB 開催)  
麻痺側上肢機能へ段階的に介入し使用頻度向上に至った症例  
～ JASPID を用いて～  
青木 萌 (OT) / 玉代 浩章 (OT・主任) / 漆谷 直樹 (OT・RM) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
見える！見える！自立支援！  
～セルフケア介入記録向上への取り組み～ 渡邊 真之 (CW) / 井村 太治 (CW・主任) / 藤原 久幹 (CW) / 杉原 祥太 (CW)  
自宅で転倒・骨折を繰り返した患者に対する退院後の転倒予防に向けた包括的介入  
中川 慎一郎 (PT) / 中臺 久恵 (PT・副主任) / 松下 信郎 (PT・主任) / 漆谷 直樹 (OT・RM) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 高江 政志 (DR) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
抗 SRP 抗体陽性筋炎の症例に対する  
回復期病棟でのリハビリテーションについて  
松四 健太 (PT・副主任) / 後藤 葉奈 (PT) / 福江 亮 (PT・RM) / 松下 信郎 (PT・主任) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 荒川 良三 (DR) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
RE-Gait® が運動学・運動力学的要素の観点から失調歩行に与える即時効果の検討  
中臺 久恵 (PT・副主任) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 松下 信郎 (PT・主任) / 安東 誠一 (DR・副院長) / 中川 慧 (広島大学大学院 医系科学研究科 生体環境適応科学研究室) / 田中 英一郎 (早稲田大学理工学術院 大学院情報生産システム研究科) / 三削 類 (広島大学大学院 医系科学研究科 生体環境適応科学研究室) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
構文訓練を行い失文法の軽減につながった症例  
村竹 菜摘 (ST) / 山内 温子 (ST・副主任) / 渡邊 光子 (ST・主任) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
内服自己管理訓練患者用パンフレットの見直し  
平山 亜純 (NS・副主任) / 永見 茜 (NS・部長)  
ZOOM を使用した失語症交流会の開催について  
渡邊 光子 (ST・主任) / 福田 あかり (ST) / 村竹 菜摘 (ST) / 國貞 葵 (ST) / 岡野 つぐみ (ST) / 田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)  
当院セラピストの手指衛生遵守率向上への取り組み  
田中 直次郎 (PT・リハビリ部長) / 松下 信郎 (PT・主任) / 玉代 浩章 (OT・主任) / 今橋 郁美 (ST・主任) / 渡邊 光子 (ST・主任) / 漆谷 直樹 (OT・RM) / 福江亮 (PT・RM) / 丸田 佳克 (PT・RM) / 杉本 真理子 (NS・副院長・看護介護部長) / 重信 順也 (DR・総合診療部長) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)

## 専門雑誌・書籍

- 2020.12.15 CLINICAL REHABILITATION 2020.12 vol.29 No.13 pp.1350-1362  
特集 ウィズコロナ・ポストコロナ時代のリハビリテーション  
回復期・生活期リハビリテーション病棟での COVID-19 院内感染対策  
岡本 隆嗣 (DR・病院長) / 重信 順也 (DR・総合診療部長) / 杉本 真理子 (NS・副院長・看護介護部長) / 田中 直次郎 (理学療法士・リハビリ部長) / 吉野 高博 (事務・統括本部長) / 森岡 正昭 (事務・情報管理室長)
- 2021.1.10 リハビリナース 第 14 巻 1 号 (通巻 91 号)  
現場のリアルなギモンを集めました  
それが聞きたかった！リハビリ看護 Q&A30  
p.15 記録 永見 茜 (NS・部長) pp.40-41 リハ栄養 中西 彩佳 (RD)  
pp.44-46 VF・VE 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.2.2 回復期リハビリテーション病棟協会機関誌  
2021 年 1 月号 (第 19 第 4 号・通巻第 75 号)  
病院身辺雑記 Talking About Our "New Normal"  
「面会制限の中で取り組む介護指導」 井村 太治 (CW・主任)
- 2021.3 NPO 法人日本リハビリテーション看護学会 ニュースレター 2021 年 3 月  
施設紹介 杉本 真理子 (NS・副院長・看護介護部長)

# チーム紹介!

## 事務局 広報

法人の広報物・印刷物・デジタルコンテンツ制作を行う3名の広報担当をご紹介します。

### 事務局「広報」とは?

小川 当院では、広報物の制作をほぼすべて内部で行っています。これを担当するのが私達、通称「広報」です。

### 仕事内容は?

小川 広報誌、パンフレット類、掲示物、案内文書、ホームページ、動画コンテンツの制作など。企画から撮影・工作・デザインまで行います。職員研修の運営やテキスト・eラーニングの作成等、教育部門の仕事にも携わっています。

### 心がけていることは

内藤 見る人の立場と施設全体のバランスを意識して制作をしています。様々な角度から伝えたい

内藤

副主任 小川

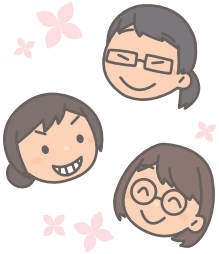
石井



とで朋和会のファンを増やしていきたいと思っています。

石井 言葉や文字だけでは伝わりにくいこともイラストを使い、より皆様にイメージしやすく、伝わりやすくなるよう心がけています。

小川 タイムリーに柔軟に対応できることが内部部隊の強みと考えています。法人の全部署と連携し皆様のリハビリをサポートできるよう、これからも3人で頑張ります。



## 医療法人社団朋和会 基本理念

# 信じ合い、明日を拓く

私たちは「信じ合い、明日を拓く」という言葉を基本理念としております。

「信じ合う」という言葉は、患者さんと職員との信頼関係とともに、職員間の信頼関係をも含んでおります。理想的なリハビリテーションは、ひとりの患者さんを中心に全スタッフが取り組むチーム医療が原点です。たしかな信頼関係のもと、全職員が心をひとつにして治療に取り組めばそこには安心感が生まれ、患者さんに、より大きなご満足いただけるものと信じております。

「明日を拓く」という言葉は、現状に満足することなく未来へ向けて挑戦したいという私たちの願いです。超スピードで進化する医学の流れをしっかりと見定め、フロンティア・スピリッツを胸に、どんな困難にも立ち向かっていきたいという気持ちをこの言葉で表現しました。

「信じ合い、明日を拓く」この言葉をいつも大切に考え、患者さんやご家族の皆さん、受診者の皆さんにご奉仕し、地域社会の発展に寄与していきたいと心より願っております。

医療法人社団 朋和会  
初代理事長 岡本則昭

## 医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院

〒731-5143 広島市佐伯区三宅6丁目265番地  
TEL (082) 921-3230 (代表)  
FAX (082) 921-3237 E-mail wel@weln.jp  
URL <http://www.weln.jp/>

✳ 理事長・病院長：岡本 隆嗣



✳ 広島中心部より車で約30分 ✳ 広電楽々園駅より車で約10分 ✳ JR五日市駅南口よりバスで15分

